

# 日本植生史学会ニュースレター

No.28 November 7, 2012

第27回日本植生史学会大会のご案内（最終報）、新潟県立歴史博物館の無料閲覧のご案内  
学会ニュース

## 第27回日本植生史学会大会のご案内（最終報）

第27回日本植生史学会大会を下記の日程で開催します。

### ◆日時

- 11月23日（金） 午前：幹事会，評議員会  
午後：公開シンポジウム，奨励賞授与式及び受賞記念講演，懇親会  
11月24日（土） 午前・午後：一般研究発表（口頭・ポスター），総会

### ◆会場

アオーレ長岡 市民交流ホール A（新潟県長岡市大手通1丁目4番地10）

### ◆主催等

主催：日本植生史学会 共催：新潟県立歴史博物館 後援：新潟県考古学会

### ◆大会実行委員

荒川隆史（委員長），加藤正明，渡邊裕之，西本 寛，庄田慎矢，佐々木由香

### ◆費用（費用はすべて当日徴収になります。）

参加費：一般会員・非会員：3000円（事前登録）4000円（当日参加）・学生会員：1000円（要旨集代を含む）  
懇親会費：一般会員・非会員：5000円 学生会員：3000円

### ◆大会チラシ

学会 Web サイト（<http://hisbot.jp/>）からダウンロードできます。配布のご協力をお願いします。

### ◆宿泊

長岡駅周辺に宿泊施設は多数あります。懇親会会場である長岡グランドホテルに宿泊されるのが便利です。

### ◆交通案内

<JR長岡駅からのアクセス>

JR長岡駅から徒歩3分（<http://www.city.nagaoka.niigata.jp/ao-re/access/>）

<JR長岡駅までのアクセス>

- ・空路：新潟空港で新潟駅南口行きの空港リムジンバス（新潟交通）に乗車，新潟駅で乗換え。
- ・電車：東京から約1時間40分（上越新幹線），新潟から約25分（同）。
- ・車：東京から約3時間（関越道長岡南越路S.I.C.または長岡I.C.下車），新潟から約1時間（北陸道中之島見附I.C.下車）。会場周辺に無料駐車場はほとんどありません。
- ・長距離高速バス：関西方面からは堺ーなんばー京都ー長岡ー三条線（南海バス・越後交通）に乗車し，「長岡駅東口」で下車。首都圏方面からは池袋ー長岡ー新潟線（西武バス・越後交通・新潟交通）に乗車し「長岡北」停留所で下車，上り車線の「長岡北」停留所に移動して新潟発の高速バス長岡駅前行き（越後交通・新潟交通）に乘換え。

### ◆大会プログラム

○11月23日（金）

- 09:00-10:30 幹事会（市民交流ホールA楽屋）  
11:00-12:30 評議員会（市民交流ホールA楽屋）  
12:00- 受付開始  
13:00-17:00 公開シンポジウム

## 公開シンポジウム「縄文人と森—越後平野の原風景」

オーガナイザー 荒川隆史（新潟県教育庁）

趣旨：縄文時代の集落では、食料・建材・燃料材など生活に不可欠な物資を森林から調達していた。越後平野の縄文集落からは膨大な数の木材や堅果類が出土しており、丘陵から離れた居住地でも森林資源を豊富に利用していたことが明らかになっている。低湿地という立地環境のもと、縄文人が森林資源をどのように確保し利用していたかが問題となっている。そこで、考古学・年輪年代学・植物学による出土資料の分析と、現生林の調査によって得た実証的データとの比較・検討をつうじ、縄文集落の形成と森林利用について時間・空間的に考察したい。

- 13:00-13:15 趣旨説明 荒川隆史  
13:15-13:50 話題1 縄文の生活を支えた地形環境とは？ ト部厚志（新潟大学）  
13:50-14:25 話題2 越後平野の縄文クリ林 吉川昌伸（古代の森研究所）  
14:25-14:35 休憩  
14:35-15:10 話題3 建材の年輪が語る縄文の森林とその利用 木村勝彦（福島大学）  
15:10-15:45 話題4 遺跡から探る縄文のムラと森 荒川隆史（新潟県教育庁）  
15:45-15:55 休憩  
15:55-16:55 パネルディスカッション  
17:00-17:30 奨励賞授与ならびに受賞記念講演  
18:00-20:00 懇親会

○11月24日（土）

08:30- 受付

09:00-11:00 口頭発表

### 口頭発表 A「生態，古生態，環境変動」座長：工藤雄一郎

08:45 O-1 辻 誠一郎（東京大）下末吉期の植生史とステージ5 陸域スタンダード

09:00 O-2 紀藤典夫\*・小野 哲・山田佳輝（北海道教育大）青森県における最終氷期のアスナロの産出とその意義

09:15 O-3 西内李佳\*・百原 新（千葉大），大里重人（土質リサーチ），遠藤邦彦（日本大）最終氷期最寒冷期の北関東の低地から丘陵域への針葉樹林の組成分布

09:30 O-4 百原 新\*（千葉大），三宅 尚（高知大），植木岳雪（産総研）紀伊半島東部菌の最終氷期最寒冷期の針葉樹林の組成と分布様式

09:45-10:00 休憩

### 口頭発表 B「人と植物の関係史」座長：庄田慎矢

10:00 O-5 工藤雄一郎（歴博）隆帯土器付着炭化物の分析と晩氷期の土器利用

10:15 O-6 遠藤英子（首都大）土器圧痕の形成過程とタフォノミー

10:30 O-7 中沢道彦\*（長野県考古学会）・丑野 毅（東京国際大）レプリカ法による静岡県富士市山王遺跡出土土器の種実圧痕の観察とその評価

10:45 O-8 那須浩郎\*（総研大）・大山幹成（東北大）・米延仁志（鳴教大）・猪俣 健（アリゾナ大）マヤ文明の盛衰と植生変化—グアテマラ，セイバル遺跡の植物考古学調査—

11:00-12:00 総会

12:00-12:30 昼食

12:30-14:30 ポスター発表（12:30-13:30 奇数番号，13:30-14:30 偶数番号）

### ポスター発表

P-1 三宅 尚・中川 起（高知大）徳島県黒沢原周辺における最終氷期以降の植生変遷と火事

P-2 一木絵理（名古屋大），松本優衣（千葉県），辻 誠一郎（東京大）八戸・上北地域の縄文時代の生態系史

P-3 小椋純一（京都精華大）森林火災跡地に残された微粒炭等炭化物についての基礎的研究（1）

- P-4 Nguyen Thi Mai Huong (Institute of Archaeology of Vietnam), Vu Van Phai (Vietnam National Univ.), Sei-ichiro Tsuji (Tokyo Univ.) Environmental change and reconstruction of village ecosystem at Dong Son site, Vietnam
- P-5 渡辺彩花・高原 光 (京都府立大), 林 竜馬 (琵琶湖博), 竹村恵二 (京都大附属地球熱力学研究施設) 由布岳南方東石松露頭の微粒炭分析及び花粉分析に基づく最終氷期以降の火事と植生の歴史
- P-6 嶋田美咲・高原 光 (京都府立大), 加三千宣 (愛媛大), 山本正伸 (北海道大), 池原 研 (産総研), 入野智久 (北海道大), 竹村恵二 (京都大附属地球熱力学研究施設), 佐川拓也 (愛媛大), 坂本竜彦 (人海洋研究開発機構), 池原 実 (高知大), 武岡英隆 (愛媛大) ウィグルマッピング法を用いた高時間分解能の花分析に基づく別府湾周辺における 2700 年間の植生変化と人間活動の歴史
- P-7 金原正明 (奈良教育大), 西田 巖 (佐賀市教委), 中村俊夫 (名古屋大), 金原美奈子 (古環境研究所) 佐賀市東名遺跡の植生復原
- P-8 安 昭炫 (パレオ・ラボ), 辻 誠一郎 (東京大) 山形県押出遺跡の植生史と縄文人の植物利用
- P-9 山本総光・辻 誠一郎 (東京大) 東北地方北部御所野遺跡における縄文時代以降の集落生態系史
- P-10 小畑弘己 (熊本大), 真邊 彩 (鹿児島大) 鹿児島県宮之迫遺跡の圧痕調査成果
- P-11 中村直子・真邊 彩 (鹿児島大), 小畑弘己 (熊本大), 大西智和・福井俊彦 (鹿児島国際大), 山野ケン陽次郎・恵島瑛子・松崎大嗣・寒川朋枝 (鹿児島大) 宮崎県都城市土器圧痕調査からみたアワとキビ
- P-12 木村勝彦 (福島大), 荒川隆史 (新潟県教育庁), 中塚 武 (名古屋大) 鳥海山の神代杉による縄文晩期をカバーする年輪酸素同位体比の物差しの作成と実際の適用
- P-13 浦 蓉子 (京都大) 木器の用材選択と植生—弥生から古墳時代における琵琶湖沿岸地域のスギ材利用を中心に—
- P-14 高橋 敦・千葉博俊 (パリノ・サーヴェイ), 久田正弘 (石川県埋文) 七尾城跡シッケ地区から出土した漆器の樹種選択
- P-15 鈴木伸哉 (首都大東京), 大山幹成 (東北大植物園), 星野安治 (奈文研), 能城修一 (森林総研) 墨田区弘前藩津軽家上屋敷跡から出土した遺構構築材の樹種と年輪幅からみた近世の木材利用
- P-16 箱崎真隆 (名古屋大), 大山幹成 (東北大植物園), 星野安治 (奈文研), 吉田明弘・鈴木三男 (東北大植物園) 東北北部の埋没林・遺跡から出土したアスナロの長期標準年輪曲線構築
- P-17 金原正明 (奈良教育大), 中村慎一 (金沢大), 鄭雲飛・孫国平 (浙江省文物考古研究所), 金原正子 (古環境研究所) 中国長江下流域の稲作文明の植物遺体群
- P-18 崔星華・辻 誠一郎 (東京大) 三陸沿岸陸前高田市域の景観生態系史と復興まちづくり計画
- P-19 山崎 健・松井 章 (奈文研) 文化財レスキューの取り組みと復興関連調査への支援体制の確立

**口頭発表 B 「人と植物の関係史」 座長：百原 新**

- 14:30 O-9 渋谷綾子 (歴博) 現生鱗茎・根茎類のデンプン粒における形態学的特徴—残存デンプン粒の植物同定をめざして
- 14:45 O-10 上條信彦\* (弘前大), 渋谷綾子 (歴博), 山本直人 (名古屋大) 北陸の縄文後・晩期遺跡から出土した石器と土器付着物の残存デンプン粒
- 15:00 O-11 吉川純子\* (古代の森研究舎), 小林和貴 (東北大植物園), 工藤雄一郎 (歴博) 下宅部遺跡から出土したウルシ属果実の同定
- 15:00-15:15 休憩

**口頭発表 B 「人と植物の関係史」 口頭発表 C 「分類, 系統, 生物地理」 座長：大山幹成**

- 15:15 O-12 小林和貴\* (東北大植物園)・佐々木由香 (パレオ・ラボ)・能城修一 (森林総研)・鈴木三男 (東

北大植物園) 出土編組製品における素材植物の同定方法

15:30 O-13 村上由美子\* (京都大博) 縄文時代におけるコナラ属の木材利用—出土木製品用材データベースの活用例—

15:45 O-14 能城修一\* (森林総研), 南木睦彦 (流通科学大学), 鈴木三男 (東北大学) 縄文時代後・晩期に大阪湾岸に成立したイチイガシ林

16:00 O-15 西本 寛 (愛知大) PEG 含浸木材の放射性炭素年代測定は可能か

#### ◆ 口頭発表の方法

時間は発表 12 分, 質疑応答 3 分, 会場備えつけの設備 (Windows, Mac 各 1 台) を使用した液晶プロジェクターによる発表とします。ソフトは, Windows の場合 Microsoft Office PowerPoint 2011 まで対応, Mac の場合 Microsoft Office PowerPoint 2011 まで対応しています。ファイルは, USB メモリに保存してご持参下さい。ファイル名は発表番号として下さい。データの受付は, 会場受付でおこないます。6 日午前の発表者 (O-1 から O-8) は 24 日の 8 時 40 分まで, 午後の発表者 (O-9 から O-15) は 14 時まで提出して下さい。

#### ◆ ポスター発表の方法

ポスターボードは幅90cm, 高さ210cmです。ポスターの掲示は, 23日の12時から24日の16:00まで可能です。なお, 24日16:30を過ぎても掲示されている場合は, 大会事務局で処分します。

#### ◆ 大会に関する連絡先

お問い合わせ等は [taikai27@hisbot.jp](mailto:taikai27@hisbot.jp) 大会実行委員までお願いします。

#### ◆ 申込締め切り

大会参加・懇親会参加 11月10日 (土) 必着 (延期しました)

#### ◆ 申込方法

学会Webサイトの申込フォーム(<http://hisbot.jp/>)から記入し, 申込み下さい。

◆ 11月24日 (土) ~11月25日 (日) の巡検にお申し込みの方には, 別途旅行代理店からご案内をお送りします。

#### ◆ 新潟県立歴史博物館の無料観覧のご案内

大会参加者は, 11月22日 (木) ~25日 (日) の期間中, 青田遺跡の出土資料の一部が展示されている新潟県立歴史博物館を無料で観覧できます。無料観覧には, 下記に印刷されている入場券が必要です。

## 学会ニュース

#### ● 会費納入のお願い

2012年度会費の早期納付にご協力下さい。よろしく申し上げます。

会費を滞納している方につきまして, 会費納入の呼びかけに応じない場合, 2012年度大会での承認を経て除名となります。未納会費の早期納付をお願いします。

日本植生史学会会費 (2010年度より) 一般会員: 6,000円, 学生会員: 3,000円, 団体会員: 8,000円, 賛助会員: 一口20,000円とし一口以上とする。会費納付先: 郵便振替口座 00980-8-70087 加入者名 日本植生史学会

事務局:

- 連絡・問合せ 庶務幹事 吉田圭一郎 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷常盤台79-2横浜国立大学教育人間科学部  
TEL: 045-339-3425 庶務: [hbmain@hisbot.jp](mailto:hbmain@hisbot.jp) 会誌投稿: [hbjournal@hisbot.jp](mailto:hbjournal@hisbot.jp)
- NL編集, ホームページ・企業広告問合せ 広報・渉外幹事 西本 寛 広報・渉外: [hbnews@hisbot.jp](mailto:hbnews@hisbot.jp)
- 入会・異動・退会の申し込み, バックナンバーの購入, メーリングリストアドレスの登録・変更, NL発行  
〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協学会支援センター内 日本植生史学会事務局  
Tel: 03-5307-1175 Fax: 03-5307-1196 Mail: [hisbot@univcoop.or.jp](mailto:hisbot@univcoop.or.jp)
- 学会ホームページ <http://hisbot.jp/>

### 新潟県立歴史博物館無料観覧券

(新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2 開館時間9:30~17:00)

利用可能期間: 2012年11月22日から25日まで

第27回日本植生史学会大会